

2015年10月23日

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086
神戸市中央区磯上通 7-1-5
www.lilly.co.jp

EL15-53

日本イーライリリー株式会社、国立がん研究センターと 「SCRUM-Japan」(産学連携全国がんゲノムスクリーニング)の 共同研究契約を締結

日本イーライリリー株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表執行役社長:パトリック・ジョンソン、以下、日本イーライリリー)は、国立研究開発法人国立がん研究センター(以下、国立がん研究センター)と産学連携全国がんゲノムスクリーニング事業「SCRUM-Japan」に関する共同研究契約を締結致しました。

日本イーライリリーは今後、国立がん研究センターと協力し全国規模の遺伝子変異スクリーニングで蓄積されるデータを活用し、がん治療における革新的な薬の開発を進めて参ります。

リリーオンコロジーの開発・メディカル部門担当シニア・バイスプレジデント、リチャード・ゲイナー医学博士は、今回の契約締結にあたり、「この度、日本の産学連携全国がんゲノムスクリーニング事業に参加することとなり、リリーとして誇りに思います。この事業は患者アウトカムの改善を目指すリリーオンコロジーの個別化医療の開発戦略に合致するものです。新事業により臨床試験のデザインの改善が促され、様々ながんの生物学的特性に対する理解が深まることでしょう。この取り組みで日本のがん患者のみなさまに新しい治療法が速やかに届くことを期待しています。」と述べました。

日本イーライリリー研究開発本部担当副社長の藤本利夫は、「本連携を通じて日本の橋渡し研究をさらに活性化し、一日も早く一つでも多く日本発の革新的医薬品を世界の患者さんのもとに届けることができると期待しています。」と述べました。

SCRUM-Japanについて

SCRUM-Japan は、2013年に開始した希少肺がんの遺伝子スクリーニングネットワーク「LC-SCRUM-Japan」と、翌14年に開始した大腸がんの遺伝子スクリーニングネットワーク「GI-SCREEN」が統合してできた、日本初の産学連携全国がんゲノムスクリーニングです。全国約200医療機関と10数社の製薬会社が参画し、アカデミアと臨床現場、産業界が一体となって、日本のがん患者さんの遺伝子異常に合った治療薬や診断薬の開発を目指す、世界最先端のプロジェクトです。(SCRUM-Japan HP:<http://epoc.ncc.go.jp/scrum/>より抜粋)

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、イーライリリー・アンド・カンパニーの子会社で、本年設立40周年を迎えます。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じて日本の医療に貢献しています。統合失調症、うつ、双極性障害、注意欠如・多動症(AD/HD)、がん(非小細胞肺癌、膵がん、胆道がん、悪性胸膜中皮腫、尿路上皮がん、乳がん、卵巣がん、悪性リンパ腫、胃がん)、糖尿病、成長障害、骨粗鬆症などの治療薬を提供しています。また、アルツハイマー型認知症、関節リウマチ、乾癬、高コレステロール血症などの診断薬・治療薬の開発を行っています。詳細はホームページをご覧ください。<http://www.lilly.co.jp>